



季節の草花が出迎える本社。



スタッフの温かな笑顔が来店客を迎える。



厳選された商品が並ぶ店内。



西江社長とバイヤーがこだわり抜いた商品ラインアップ。

**人としての成長を図る
「JRJの勉強会」**

この経営理念のもと、全従業員に
向けて毎月「JRJの勉強会」を開
いている。

西江社長は、方々に助言を
求め、経営者の著書などを読むうち
に、「経営理念」の大切さに気づいた。
「そこで考えたのが、今の経営理念
『あいさつ・掃除・整理整頓・笑顔・元
気・素直・感謝・持続・勉強・創意工夫、
挑戦』。これを常に頭におき、仕事を
通じて心を磨き、「人に喜ばれ役に立
つ人間」になろうと呼びかけました」

た。西江社長の商品を見る目と、「主
人の堅実な経営姿勢の一人三脚で、
着実に業績を伸ばしていく」。
ところが、店舗数が増えるにつれ
て、ある問題が起こった。
「私の目が届かなくなり、人がうま
く育たなくなつたんです。職場の人
間関係が悪化し、不平不満が噴出。次
第に店の雰囲気も悪くなつていきました」

悩んだ西江社長は、方々に助言を
求め、経営者の著書などを読むうち
に、「経営理念」の大切さに気づいた。
「あいさつ・掃除・整理整頓・笑顔・元
気・素直・感謝・持続・勉強・創意工夫、
挑戦」。これを常に頭におき、仕事を
通じて心を磨き、「人に喜ばれ役に立
つ人間」になろうと呼びかけました



会社名：株式会社アミング
代表者：代表取締役社長 西江あきよ
設立：1982年
事業内容：生活雑貨、食品、ファッショングoods、
化粧品、文具、ガーデン雑貨などの販売
所在地：石川県金沢市無量寺5-54-3
連絡先：Tel. 076-254-5400
Fax. 076-254-5406
<https://www.aming.co.jp/>

「自分自身の心を磨く」とことを目
的に、さまざまテーマを話し合い、
レポートを提出してもらいます」
その効果は従業員の表情、店の雰
囲気、そして売上にも現れた。同時
に笑顔の良かった人を投票し合う
「笑顔コンテスト」を毎日行うなど、
互いを認め合う素地もつくった。
「弊社は売上を追う企業ではありません。商いを通して、人間を育て
ていく『学校』だと思っています」

アミングが織りなす温かな世界
に、来店客は魅了される。そこには
西江社長の人材育成にかける思い
が込められているのだ。

商いを通して成長する 経営理念に込めた想い

株式会社アミング



代表取締役社長

西江あきよ 氏

北陸地方を中心に各地に
雑貨店を展開するアミング。
来店客の心がはずむ
居心地の良い売り場づくりの秘訣は、
経営理念を徹底させる人材教育にあった。

金沢市に本社を置く生活雑貨店
「アミング」。その商品構成は幅広
くキッチン雑貨、インテリア雑貨か
ら、ファッショングoods、食品、バッグやア
クセサリー、化粧品、文具、ガーデン
雑貨など多岐にわたる。

「弊社には10人のバイヤーがいま
すが、最終的には私がほぼすべての
商品を見て決定します。判断基準は
『これ欲しい、これが素敵』という感
覚と、価格などがお客さまの生活感
覚とミスマッチでないもの、食品は
安全・安心を第一に、実際に食べて
飲んで選びます」と西江あきよ社長
は解説する。

こうした西江社長以下のバイヤー
が厳選した充実の品揃えや、思わず
足を運びたくなる上質な店舗空間
が支持され、現在北陸（石川、富山、
福井、新潟）を中心に長野、愛知、滋
賀、栃木、群馬、京都など全国で30店
舗以上を展開している。

特にアイデアがあつたわけでは
なかつたんですが、当時の生活に満
足していなかつたのかもしませ
んね。それで考えた結果、子どもた
ちが学校帰りに毎日来てくれるよ
うな、ファンシーショップを始めよ
うと思つたんです」

こうして、アミングは第一歩を踏
み出した。

「特にアイデアがあつたわけでは
なかつたんですが、当時の生活に満
足していなかつたのかもしませ
んね。それで考えた結果、子どもた
ちが学校帰りに毎日来てくれるよ
うな、ファンシーショップを始めよ
うと思つたんです」

アミング1号店の開店は35年前
の1984年。当時、西江社長は保
育士を辞めて子育て中の主婦だっ
た。義父（現会長であるご主人の父）
が経営する「大同漁網」が社屋を移
転した際、その跡地が15坪だけ余つ
た。「(ご主人と)一人で店でもやら
ないか?」と聞かれ、西江社長がそ
の場で「はい、やります!」と即答し
たのが始まりだった。

アミング1号店の開店は35年前
の1984年。当時、西江社長は保
育士を辞めて子育て中の主婦だっ
た。義父（現会長であるご主人の父）
が経営する「大同漁網」が社屋を移
転した際、その跡地が15坪だけ余つ
た。「(ご主人と)一人で店でもやら
ないか?」と聞かれ、西江社長がそ
の場で「はい、やります!」と即答し
たのが始まりだった。